

山 口 新 聞

平成 27 年 3 月 6 日 (金)

NO.144



農地・水・環境
守ろう地域の手に



「ホタルの里を永遠に」

赤谷保全会 (下松市)

144

●会員の皆さん
●水生生物の生息調査



赤谷は下松市北部の山間部
に位置する24世帯の小さな集落。主に水稲と野菜を生産し、冬は雪が降る寒い所だが寒暖の差が大きく、「おいしいものができる」と評判である。また、清流ならではのホタルが乱舞する景観も見事である。

当会は2007年から5年間活動した後、事務処理の不安から活動をやめていたが、定年退職者の新規参加で本年度から活動を再開する運びとなった。

主な環境保全活動は住民が毎年6月に開催している「ほたる見会」に向けたホタルの生息環境づくり。営事業で整備された環境保全型水路やビオトープで水生生物生息調査を実施し、維持管理講習を開くなど、ホタルのえさとなるカワニナ、カエルなどの生息環境確保のための活動に取り組んでいる。

これからも、「ホタルの里を永遠に」を合言葉に赤谷地区の環境保全に取り組みたい。(代表、中村英隆)

— 金曜日掲載 —

【メモ】代表 中村英隆
▽会員 28人、農家(25戸)、非農家、土地改良区、自治会
▽設立 2014年6月8日
▽連絡先 下松市下谷2005の2、中村英隆さん
0893333153・02889